

第1回

ゴーン恵美の 発音講座

このコーナーでは、長年JAPEC会員である「恵美&ジェフゴーンえいご教室・ENGLISH CORNER」のゴーン恵美先生による、レッスンで役立つ発音指導方法をお届けしていきます。

ゴーン 恵美



長崎県大村市にて、アメリカ人の夫と英語指導にあたり35年。300名近くの生徒さんと英語教育に勤しむ。

国際英語発音協会EPT発音指導士®取得、指導者向英語発音技能検定試験®EP-Pro®1級取得、発音分析コース終了。

テーマ：日本語と英語の言語差を知ろう

皆さま！こんにちは！

私流ではありますが、これまでの発音指導からの気付きなどシェアさせていただけますことを大変嬉しい思います。

英語は美しい音の言語、日本語は美しい文字の言語だなあといつも思うのですが、異なる美しさを持つこの2言語、言語間距離の概念では、日本語は英語から最も遠い言語に分類されています。

よく日本語は高低言語、英語はリズム言語（強弱言語）と言われますが、アメリカ人である私の夫は、日本語の意味理解はできても、その話し方は歌っているように聞こえます。これは英語の強弱リズムで、日本語を話しているからなのです。

私たち日本人にはその反対のことが起こり、リズムに欠ける話し方になってしまいます。意識すべき言語差のひとつが、英語はリズム言語であるというところにあります。

モーラ言語である日本語の音節は子音+母音とセットになっており離れることは決してありません。ところが英語のアルファベットには一文字一文字にそれぞれの音があり、それは音声の最小単位である「音素」と呼ばれます。お気付きかと思いますが、この違いがかなり厄介で、日本人にとっては、子音と母音を切り離すことが難しく英語で話す時にも母音がくっついてしまうのです。

それを回避するために、まず英語の歌や韻を踏んだ絵本などで英語の音だけを楽しみ、音素に親しんでもらいます。おうちでできる良質な英語のイン

プットとなります。その後に文字を見せながら、文字と音の結びつきルールであるフォニックスに導いていけたら理想的です。

言語差に気付いてもらうために、私が試みることを紹介致しますね。

日本語が子音+母音のセットであることに気付いてもらえるように「かきくけこ」から母音アイウエオを全部取って発音してみるよう聞いてかけます。すると子供たちは身体がカチコチになったように妙な力が入り、一生懸命に「k k k k k」と音を発してくれます。

そこで「kあkいkうkえkお」と子音+母音のくつきについて説明することで、子音について理解を深めてくれるようです。

他にもラ行を1とrで試すと、ラ行とは異なる日本人の苦手な子音、1とrの違いにも気付いてくれる機会となり一石二鳥どころではありません。

子音の音を獲得することは重要で、文章で英語らしい音の流れを作り出すのに大活躍してくれます。この時点で「英語の音はカタカナで表せないから絶対に使わないよ！」という私の言葉かけに理解が進み口元をよく見てくれるようになり、発音記号に触れる活動の良いきっかけにもなっています。

面白おかしく言語差を感じながら、正しい音を聞き分ける力、その音を正しくアウトプットする力をしっかりと育てていきたいですね！

日本人が苦手なthについて簡単な動画をお楽しみください。



以下にあります児童向けの英語発音テスト『Jr. EPT』制作に深く関わらせていただきました。
ぜひ楽しみながら挑戦してみてくださいね。



児童向け英語発音テスト

英語は音から！

通じる英語の音が出ているかどうかを判断するテストです。

単語や短い文を音読する方法で、録音データを送ればOK。

合格不合格ではなく「通じるか通じないか」を評価し、その割合を数字で表したレポートで通知します。

年3回開催。お子さまのレベルに合わせて受験が可能！



国際英語発音協会

<https://ept.or.jp/jrept/>